

平成30年度 自己評価書及び学校関係者評価書

平成31年3月15日
市立札幌旭丘高等学校

◇ 学校教育目標

～生徒の自主・自立を支援し、大学進学後の成長と社会に貢献できる人間の育成～

- 1 高い志を持ち、自ら真理を探究する人間の育成
- 2 進取積極的に自ら社会に貢献する人間の育成
- 3 文化の創造と発展に寄与する人間の育成
- 4 遅しく生きるための体力と豊かな人格の育成

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	評価のポイント・改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
重点目標	生徒が充実した学校生活を送るよう支援する。	A	教科の学習だけではなく、特別活動等を通じて知徳体の調和がとれた教育活動の推進に努めている。生徒のより良い学校生活を送ろうとする意欲を向上させるため、バランスの取れた支援を充実させていく。	A	A
	自ら学び自ら考え、真理を探究する人間を育てる。	A	単位制の特色を生かした科目選択、総合的な学習の時間や進路探究学習などを通して、自ら学び自ら考える態度の育成を目指している。授業改善や総合的な学習の時間の見直しによって、教育活動の一層の充実を図っていく。	A	A
	広い視野に立って、生活や文化の発展に寄与する人間を育てる。	B	朝読書、学問研究会、総合的な学習の時間等の取組を通して、広い視野をもつ生徒の育成に努めている。より効果的な指導について検討・実施しながら教育活動の向上を図っていく。	B	A
	他者への思いやりや正義感をもった社会に貢献する人間を育てる。	A	部活動・学校行事の他、ボランティア活動等を通して、生徒は集団のなかでの自分の在り方や社会貢献について学んでいる。さらなる指導の工夫を図っていく。	A	A
<p>学校関係者評価委員からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科学習と特別活動等から「知・徳・体」の調和の教育活動は、生徒、保護者に高く評価されている。 ・知・徳・体のバランスが良好な教育活動を推進する中で、一人ひとりの生徒が充実した学習および特別活動を実現できるように図られたい。視野をひろげるような知見との出会いに期待する。 ・学校生活全般に対する満足度の高さは評価に値します。学習活動の充実ももちろんですが、総合的な学習の時間や学校行事、部活動等を通じて、生徒に多様な学びの機会が提供されることを期待いたします。 ・総合学習や進路探究学習等から、自ら学び自ら考える教育活動に成果を期待する。 ・「総合的な学習の時間の活動は役に立ったと思う」と答えた生徒、又は「朝読書に積極的に取り組んでいる」と思う生徒は8割という結果ですが、これらの活動は、自ら学び探究を深めていく力のベースになる重要なものだと思います。より生徒が意欲的に取り組める工夫が必要と思います。 ・読書習慣、総合的な学習等から視野を広げ生活文化の発展に寄与する生徒の育成に効果的な教育活動に期待する。 ・部活動、学校行事、地域の諸行事等に、積極的に取り組み、社会に貢献する生徒の更なる教育指導に期待する。 					
学習指導	授業を通して学習意欲を喚起し、基礎学力を定着させる。	B	教師は授業改善に取り組み、指導法を工夫しているが、生徒の満足度は必ずしも高くない。また、家庭学習が十分になされていない実情がある。さらなる授業改善と生徒が主体的に学習に取り組むための意欲を喚起する工夫を重ねていく。	B	B
	多様な選択科目を生徒自らの意思で選択し履修する。	A	幅広い選択科目を設定し、生徒の進路や興味関心に応じた科目を選択できるよう努めている。シラバスの整備と丁寧なガイダンスを実施するとともに、生徒にとってより魅力的な科目が設定できるよう選択科目の見直しを果たしていく。	A	A

	生徒の向上心に応え、適切に学習活動を支援する。	A	日常的な学習支援を行うとともに進学講習を充実させている。生徒の学習意欲をさらに喚起するための方策を模索していく。	A	A
	施設設備を整備し、有効で適切な利用を促進する。	A	講義室・体育施設が整備されており、特にラウンジは生徒間の対話や自習スペースとして有効に活用されている。単位制の基本である「共有の概念」については、教員・生徒の間で概ね意識されている。	A	A
<p>学校関係者評価委員からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善、指導法の向上に努め、生徒の家庭学習不十分な環境の改善指導、生徒自らの学習意欲を喚起し、授業改善に期待する。 ・「指導法の工夫」について、生徒が何をもちえて「工夫している」と考えているのかを把握することが求められます。また、家庭学習が十分になされていないという点が少し気になります。難しい課題とは思いますが、生徒が「受け身」にならないための工夫が望まれます。 ・指導法のより一層の工夫や改善で、生徒の理解が進むことを期待しています。 ・進学講習等の学習活動の支援体制は充実し、生徒、保護者からの評価は高い。 ・講義室、体育施設等は、常時使用可能に整備され、単位制の基本「共有の概念」は、教員、生徒に理解されている。 ・学校の行動と教師の授業への創意工夫に努力されていることを生徒に伝達して、学ぶ意義と成果を共有できることが大切だと思う。 ・一人一人の生徒の目標に沿った選択科目を履修できる様に、サポートを充実して頂きたいと思います 					
生活指導	自主自立の姿勢を育成する。	B	自主自立を育成するための指導方針は、生徒・保護者ともに理解・支持されている。自主性の育成と生活規律の指導の両立には課題があると認識している。生徒の意識向上を図る取組を模索していくことが必要である。	A	B
	健全な社会生活を送るために必要な基本的な生活習慣を身につける。	B	公共の交通機関乗車時のマナーや服装等について、教員間で共通意識をもった上で指導にあたるよう努めている。交通事故の未然防止に向けての啓発も含め、生徒の意識向上を促す指導を心がけていく。	A	B
	家庭との連携をはかり生活指導に臨む。	A	保護者面談、PTA 活動、学校からの配布物、ホームページ等により学校と家庭との連携を図っている。保護者メールを活用するなど、さらなる工夫・改善を行っていく。	A	A
	生徒会活動など特別活動への取り組みを支援し、社会性の育成の発揚を促す。	A	部活動、学校行事、また生徒会活動について、教員が社会性の育成の場として熱心に指導・支援しており、生徒の満足度も高い。これらの取組をさらに充実させ、地域への働きかけも行っていく。	A	A
<p>学校関係者評価委員からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主自立の育成指導方針は、生徒、保護者に支持されているが、教員の「生活指導力」は、教員が育った環境等から「指導された経験が無い」から、「指導できない」教員としての職分の自覚不十分であり、先輩教職員の矯正指導に期待する。 ・「生活規律の指導ができていない」と考える教員の割合の高さについて、具体的にどういった点に関する指導が「しっかりできて」おらず、それがなぜ問題なのかについて、整理をしていただければと思います。 ・「自分らしさ」や「個性」を発揮したいと思う生徒に、その大切さと同時に、生活規律や社会の一員であるという自覚を持つことを促す指導の工夫を期待します。 ・自主自立をみざす生徒の姿勢を評価するものである。また一方では部活動、生徒会活動、ボランティア活動の中に協調性やコミュニケーション力の可能性を伸ばしていただきたい。 ・学校祭はじめ各種の学校行事や部活動、生徒会活動等への積極的参加は、社会参画の動機として、学校活動の伝統と成果を適宜適切に広報されたい。 					
進路指導	総合的な学習の時間を通して、思考力・判断力を身に付け、進学先やその後の社会で活躍する力を育成する。	A	総合的な学習の時間とゼミ活動については、課題発見・解決力や発信力を高めるという目的に向かって一層の工夫・改善が求められている。昨年度からポスターセッション形式の発表を取り入れた。さらなる充実に向けて検討を行っていく。	A	A
	ガイダンス機能を充実させ、的確な進路支援を行う。	A	進路に関するガイダンス機能や相談体制を充実させており、生徒や保護者から評価されている。生徒一人ひとりに応じた丁寧な支援ができるよう、取組を強化させていく。	A	A

	適切な進路情報の提供を通して、進路意識の喚起を目指す。	A	進路探究学習や学問研究を通じ、生徒に進路に対する興味関心と理解を醸成している。進路情報の提供と保護者への説明会等も充実させている。提供する進路情報の質を高め、提供の方法等も工夫していく。	B	A
	進路支援プログラムを充実させる。	A	学問研究会、進学講演会、進学講習など進路支援プログラムを充実させている。生徒が進路実現に向けてより主体的に取り組めるよう、内容の充実を図っていく。	A	A
<p>学校関係者評価委員からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路に関するガイダンス機能や相談体制は充実して生徒、保護者の評価は高い。 ・進路探究学習、学問研究会等から、進路情報に理解を深め、保護者への説明会等が充実している。 ・学問研究会、進学講演会、進学講習等、進路支援プログラムは充実して、生徒が自主主体的に進路を選択できるよう更なる拡充を図っている。 ・学問研究会や総合的な学習を進路支援の観点から一層積極的な意欲を継続できるプログラムを開発されたい。 ・「進路にかかわる情報を十分に提供している」について、保護者の数値が若干低くなっている点が気になります。「適切な進路情報」として生徒と保護者は何を求め、また教員は何を提供したいのか（提供すべきと考えているのか）、整理していただければと思います。 ・一度就職しても転職することは珍しくなくなりました。生徒自身がどのような状況にあっても、力強く人生を切り開いていく力、探究心、創造力、粘り強く取り組む力など、生きるベースとなる力を育むことは重要と考えます。今後も、その様な観点も含めたガイダンスや相談体制をより充実していかれる様、期待しております。 					
健康 安全 指導	生徒一人ひとりに対する理解を深め、適切な対応を行う。	A	配慮が必要な生徒の情報を教員間で共有しており、生徒からの相談に対して丁寧な対応を心がけている。適切な対応が果たせるよう、教員間の連携を高め、取組を強化させていく。	A	A
	心身の健康や安全に配慮した、バランスよい教育活動を行う。	A	心身の健康や安全に配慮しながら、一人ひとりの生徒に対応した適切な教育活動に努めている。知・徳・体のバランスを念頭に、さらに教育活動を推進させていく。	A	A
	特別支援の体制を整備し、組織的に生徒の支援を行う。	A	昨年度から「サポートカード」を導入し、サポート委員会を中心に、保健相談部、年次、スクールカウンセラーが連携をとりながら支援を行っている。生徒や保護者の困りごとに対して丁寧に対応していく。	A	A
	<p>学校関係者評価委員からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員は生徒からの相談問題点を、正確に理解して迅速適切な対応は、保護者から高く評価されている。 ・多感な成長期、不安や鬱状態等悩みの多発する思春期について、サポート委員会等の早期適切な対応を期待する。 ・特に心のケアに関して悩む生徒と保護者への対応は丁寧であっていただきたい。また、教員間での連携を大切にして検討いただくことを望む。 ・きめの細かな指導、支援がなされているものと思います。今後もこの体制が維持・発展されることを期待いたします。 ・学習面のみならず、思春期青年期特有の悩みや課題について、現在も適切に対応されていると思います。先生間での連携や専門家のアドバイス等で、益々丁寧な指導をされます様、期待します。 				
広報・ 連携等	保護者及び地域社会との連携に努める。	A	行事の公開、PTAの活発な活動と公開講座の企画等、地域に開かれた事業の推進に努めている。生徒に対して地域行事の参加を促したり、学校の情報発信を強化するなど、保護者や地域との連携を推進していく。	A	A
	学校説明会、中学校訪問はじめ広報活動・情報発信の充実を図る。	A	学校説明会、中学校訪問の他、ホームページによる広報活動を行っている。学校説明会は、昨年度に続き体験授業を柱として実施した。学校案内パンフレットは全面改訂を行った。ホームページは行事等のトピックを適宜掲載している。中学校からの訪問受け入れなどを含め、広報活動・情報発信を推進していく。	A	A
	<p>学校関係者評価委員からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当校の伝統と素晴らしい成果は、学校関係者のみならず、地域や中学校等に、わかりやすく時宜適切に広報されたい。 ・地域の運動会に、チアリーディング部の応援参加や、子供餅つき大会、子育てサロン等に参加している実績を更に拡充されたい。 				

- ・旭丘高校の学校説明会、中学校訪問等の取組に大いに期待したい。ホームページや学校案内パンフレット改定等広報活動を充実することで連携を深めていただきたい。
- ・貴校の取り組みが保護者だけでなく地域や中学校にもわかりやすく伝わるよう、情報発信の方法について一層の工夫が求められます。
- ・本校の特色やすばらしさを、より理解して頂ける様、より活発な広報活動を期待しています。又、他校との差別化を図るべく、独自の魅力的な教育実践や取り組みをされる様、チャレンジを続けて下さるよう、大いに期待しております。

旭丘高校として、評価をうけての今後の課題

学校関係者評価委員の方々から、「知・徳・体」の調和の教育活動、自主自立の育成指導方針は生徒・保護者に支持され、生徒の学校生活に関わる満足度が高いこと、また、進学講習等の学習活動の支援体制、進路に関するガイダンス機能や相談体制が充実しており、教育相談についても、生徒理解に努め、適切に行われていることについて高い評価を頂いた。今後も更なる充実に向けて取組を進めていきたい。

一方、指摘を受けた点もあり、今後は以下の点を重点に改善を進めていく。

- ・総合的な学習の時間の取組等を強化し、自ら学び自ら考える教育活動を発展させる。
- ・地域や社会に目を向けさせ、社会に参画し貢献する生徒のさらなる育成に努める。
- ・広報活動を強化し、地域や中学校等に本校教育の成果を適宜分かりやすく伝える。
- ・授業改善、指導法の向上に努めるとともに、積極的に家庭学習に取り組む生徒を育成するための方策を検討・実施する。
- ・公共の場でのマナーも含め、生活規律を順守する生徒を育成するための方策を検討・実施する。

<評 価> A・・・よく達成されている B・・・ほぼ達成されているが改善も必要 C・・・不十分である